

# サンデー 東京 けいざい

Sunday Tokyo Economy

「サンデー東京けいざい」についてのご意見、情報、取材依頼をお寄せください。電子メール (econotam@tokyo-tv.co.jp) で受け付けています。

化粧用スポンジの製造販売を手がける「曹ヶ谷化学工業」(高川区)は、製品の原料に石油からできる合成ゴムを使用を減らし、代わりに環境負荷の低い天然ゴムを使うなど、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減に取り組む。天然ゴムは児童労働がない海外の生産現場から調達しており、坂本昇社長(44)は「環境にも人権にも配慮する」と思いを語る。(大島宏一郎)

## 都の企業とSDGs

Sustainable Development Goals

地球に優しい化粧スポンジ



↑ 製品のフェアトレードについて語る曹ヶ谷化学工業の坂本昇社長(高川区)

### 労働環境にも配慮 人権を守る

同社が開発した化粧用スポンジは、原料の一部に天然ゴムを混ぜ込んだオリジナル製品。タイに生育するゴムの木からつくる天然ゴムは、石油由来の合成ゴムと比べて「原料の段階からCO<sub>2</sub>の排出を減らせる」(坂本社長)のが特長だ。

「天然資源は地球環境に優しい。ただ、人の手で採取されることから、生産現場で児童労働や強制労働が起きる恐れもある」。坂本社長は、環境への配慮に加え「人権リスクの排除」も掲げる。タイにあるゴム農園の労働環境に目を配ろうと、2020年の秋ごろに現地の特許工場から従業員を奥園に派遣。奥園の管理者や労働者への聞き取り調査を定期的に実施している。

21年5月には独自の認証ロゴ「フェアトレード天然ゴムマーク」も作成。児童労働や強制労働がない「公正」な取引で調達された天然ゴムを原料とした製品に付けられるようにした。今では、国内の化粧品会社など5社が製品に採用している。

「新しい物差しやルールをつくることで、販売先や消費者と共に社会課題を解決したい」。坂本社長の思いは、SDGs(持続可能な開発目標)目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の理念に沿っており、「地道な活動で世の中を良くしたい」と願う。